

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	避難場所案内板等整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	09	01	05	02
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	山崎 英彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	避難場所の周知を図る。
事業内容	市民等が地域の避難場所を確認できるように避難所案内板等を市内各所に設置する。			
事業開始から現在までの状況変化	既に設置している避難場所案内板の多くが老朽化しているため、交換や補修が必要となっている。また、新しい鉄道駅が出来たり、区画整理事業などで街並みが変わったりしていることから、新規の避難所案内板の設置も必要となっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	避難所案内板の設置数	39	39	43	か所	↑↑↑	
②	（平成25年度新設）			4	か所			
③	（平成25年度更新）			22	か所			
④								
指標で表すことができない定性的な成果	避難場所等が確認できることにより、市民の安心・安全に寄与する。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 地図が古くなり現状と合わなくなったり、老朽化して読みづらくなった地図22か所を地図のみ交換した。また、その内3か所は、案内板そのものも交換した。その他、4か所の案内板を新規に設置した。なお、今回の事業では、案内板に広告を載せ、その収入により、事業者が地図シートを3年ごとにリニューアルすることとなっている。 また、平成26年度は、新市街地地区小中学校併設校防災拠点整備事業として、TX沿線区域に案内板を13か所（各2基）を新設する予定である。			
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				7,527,600				
事業費(b)(円)				4,034,100				
うち一般財源				4,034,100				
職員給与費(c)(円)				3,493,500				
人役・職員(人)				0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	老朽化した地図、古くなった地図のみを更新することとした。	③取り組みの課題	広告主の募集が無い状況であり、自らの会社の広告を出している状況である。
②今年度(H25)に実施した取り組み	地図に広告を入れることにより、事業者が地図を更新する際の経費を削減することとした。	④今後の改善計画	事業者の今後の広告募集の営業活動が重要であり、今後の地図の更新に必要なとなっている。